広報しちのへ
2019 1
No.166

謹賀新年 想いを筆にのせて

■新年のごあいさつ ―― 2～3
■特集（北海道・北東北の縄文遺跡群） ―― 4～5
■まちのできごとあれこれ ―― 6
■行政のひろば ―― 7～12
■図書情報 ―― 13
■保健情報 ―― 14～15
■お知らせ ―― 16～19

瀬川書道教室（瀬川翠蛙（すいあ）さん）では、毎週24名の生徒が、心を込めて文字を書くことの大切さを教わり、出展した作品は書道展において高く評価されています。

現在、デジタル化が進み日常生活でも毛筆を使うことは少なくなりましたが、皆さんも年の初めにあたり、筆を持って新年の抱負を書いてみてはいかがでしょうか。

新年のごあいさつ

七戸町長
小　又　　勉

あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政各般にわたりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、東北新幹線七戸十和田駅や道の駅しちのへ周辺は、住宅建設や企業が進出するなど、開発が進んできました。この地区は、これからのまちづくりを進めるうえで重要なエリアですので、昨年度策定した荒熊内地区開発計画に基づき、事務事業を進めていきます。現在、公共施設の集約を目的に、七戸畜産農業協同組合所有地の測量や地質調査、用地調査業務などを行っており、２０１９(平成31)年度の用地取得を目指します。

急ピッチで工事が進められている上北自動車道は、平成30年度中に「上北天間林道路」が開通する予定です。また、昨年の11月、国道３９４号榎林バイパスの一部が供用開始されました。これらの開通により、地域経済や産業、観光、救急医療などが発展されるものと期待されます。

人口減少の克服に向け、平成27年に総合戦略を策定し、子育て・住宅・結婚の支援や雇用の創出に向けた取り組みなどを実施してきました。２０１９(平成31)年度が計画の最終年度となります。今後、改定版を策定するとともに、住む人がこの町を好きになれば、移住者も定住者も増えていくと考えていますので、さまざまな取り組みをしていきます。

基幹産業である農業は、就農者の高齢化や担い手不足により、経営環境は厳しい状況が続いております。国による経営所得安定対策事業において、平成30年度から主食用米への助成廃止、生産数量目標の配分が廃止され、生産者は、需要に応じた米の生産が不可欠になりました。

町としては、稲作から高収益作物への転換を進めるため、ニンニク、ナガイモ、トマトなどへの支援をしていくほか、国が進めている「輸出用米」の可能性について、農協や一般企業においても取り扱いができるかどうかを検証し、安定収入が見込めるような支援を検討していきたいと考えています。

国と町が平成28年度から共同で整備を進めてきました道の駅しちのへが昨年10月、リニューアルオープンしました。7月に新設された「道路・観光情報館」に加え、駐車場の拡張工事が完了したもので、これからのまちづくりにおいて地域経済、産業、観光への大きな役割を果たすものと期待しています。また、雇用創出のため、起業・創業対策を引き続き実施いたします。

本年4月には、天間東小学校と天間西小学校を統合した新設校として、天間林小学校が開校します。子どもたちには、新たな学び舎で、健やかに元気いっぱい、勉強や運動に励んでほしいと心から願っています。

新体育館建設事業については、２０１９(平成31)年度、実施設計業務に着手し、町民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる体育館を目指していきます。また、七戸運動公園テニスコートは、人工芝、ナイター照明などの全面改修を終え、２０１９(平成31)年度から利用を開始します。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録について、昨年は文化遺産の国内推薦候補に選定されたものの、国内推薦はかないませんでしたが、史跡二ツ森貝塚の世界文化遺産登録に向け、ガイダンス施設の整備に着手するなど、具体的な取り組みを進めていきます。

以上、施策の一端を申し上げましたが、これらの実現のため、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

議会を代表し 新年のごあいさつ

七戸町議会議長
田　嶋　輝　雄

あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに希望に満ちた新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の発展と議会運営に対して、多くのご支援とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

【昨年を振り返り】

昨年を振り返りますと、西日本豪雨および北海道胆振東部地震など、自然災害が猛威を振るった年ではありましたが、当町への影響は小さく、農作物の生育も順調に進み、水稲、畑作物の出来高にほとんど影響を及ぼさず、町民の皆さんも安心されたことと思います。

今後も、台風や地震などの災害に対し、町民の安全を基本とした防災対策の確立に、行政と共に取り組んでいく決意でございます。

【七戸十和田駅の活用】

新幹線駅開業から8年が過ぎ、北海道新幹線の開業効果もあり、首都圏からお越しになる方々にとって、「七戸十和田駅」という駅名の知名度も広がってまいりました。

特に、台湾など国外からの観光客の方々が、七戸十和田駅を起点に青森県内を観光されるケースが徐々に増加してまいりました。

今後、これまで以上に多くの皆さまに七戸町を訪れていただくため、七戸十和田駅を活用した施策やインバウンドを含めた誘客対策を検証し、地域の魅力に磨きをかけ、全国に情報を発信していかなければと気持ちを新たにしております。

【議会活動の報告】

昨年の議会定例会では、年間延べ17人の議員が一般質問しました。

内容は、定住促進、空き家対策、まちづくり、子育て支援、農業政策、指定管理、防災対策、交通安全対策、公共施設対策、学校教育、社会教育など、さまざまな分野について町長をはじめ執行機関の考えを確認いたしました。

【議員研修】

7月4日から6日に定住促進対策の先進地、長崎県大村市を訪れ、人口が増え続けている要因となっているさまざまな市の取り組みについて説明を受けるとともに、活発な意見交換をしながら、当町においても実現可能な取り組みを模索するなど、充実した視察研修となりました。

また、11月7日には上北郡町村議会議長会主催の議員研修会に参加し、現在各種メディアにも出演されている八戸市立市民病院長の今明秀氏から、「劇的救命」と題し、地域の医療問題（救急医療）に関するご講演をいただきました。

現在の地方の医療の状況、諸問題について、これからの地方議会議員として果たす役割などを改めて再確認いたしました。

また、昨年は県外からの議員視察研修を2件受け入れました。10月22日、栃木県真岡市から4名の議員の方々が当町の町活性化大賞の仕組みについて、11月27日、岩手県二戸市から15名の議員の方々が当町の史跡二ツ森貝塚の内容について研修されていきました。

【常任委員会活動】

12月定例会で各常任委員会から活動報告書を提出いたしました。

総務企画常任委員会からは、企業誘致の促進および再生可能エネルギーの積極的導入などの3件、建設産業常任委員会からは、産業振興のために、高付加価値化・ブランド化を図ること、起業・創業の支援、後継者育成、町に適合した農地集積などの7件、文教厚生常任委員会からは、文化財の保存・整備・活用と縄文遺跡群世界遺産登録の推進などの2件、計12件について町当局へ提出しました。

【次代を担う子どもたちのために】

町では、子育て支援、定住促進対策として、町費負担で子ども医療費や、小・中学校の給食費への助成などの補助を行っており、その効果も徐々に現れてきていると感じておりますので、今後も定住に向けた施策を展開していきたいと考えております。

また議会も、次代を担う子どもたちが健やかに育つよう、住み続けたい、住んでみたい七戸町をつくるため、町民の皆さまの声を反映する、「開かれた議会運営」について、今後さらに創意工夫を重ね努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年でありますよう心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

特集　北海道・北東北の縄文遺跡群

～世界文化遺産登録を目指して～

平成最後の干支は猪です。イノシシは現在の青森県ではほとんど見られませんが、縄文時代ではシカと並んで縄文遺跡から多くの骨が見つかる動物です。二ツ森貝塚からもたくさんのイノシシの骨が見つかっており、中には牙などを見事なアクセサリーに加工したものもあります。こうしたものを作り出した二ツ森貝塚の人々は、約1,500年間もの長い間この地で生活を営み続けました。この期間に縄文人たちが送っていた生活の一部をご紹介します。

骨角器４点（写真左下：猪牙製垂飾品）

【なぜ七戸に貝塚があるの？】

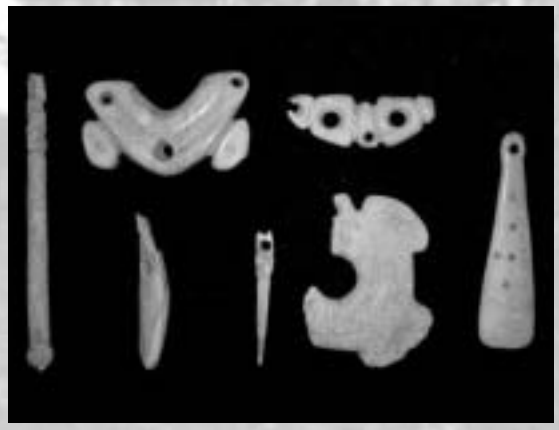
二ツ森貝塚は今から約5,500年から4,000年前の貝塚を伴う大規模集落です。遺跡は小川原湖から約3.5㎞離れており、貝殻の採集や漁を行うには決して便利と言える距離ではありません。では、なぜこの地に貝塚が築かれたのでしょうか。実は二ツ森貝塚で人々が生活を営んでいた頃、地球温暖化の影響により海水面が上昇し、遺跡のすぐ近くまで海が広がっていたと言われています。そのため、海産物が豊富な海と、豊かな森がすぐ近くにあったことが、人々が生活するうえで快適な環境の場所であったと考えられます。

【貝塚に残された情報】

貝塚からは、土の中ではあまり見つからない動物の骨などがたくさん見つかります。貝殻に含まれる成分によって、本来なら土の中で分解されてしまうものが、現代まで残り続けているためです。貝殻による天然の保存パックの効果で、私たちは縄文人が何を食べていたのかを知ることができるわけです。二ツ森貝塚からは、私たちになじみの深いカキやホタテ、ハマグリ、小川原湖の名産品でもあるヤマトシジミなどの貝類をはじめ、シカやイノシシ、クマといった陸の動物、クジラやイルカ、アシカ、フグなどの海の生物、ハクチョウやマガモなどの鳥類と、何種類もの動物の骨が見つかっています。これだけたくさんの動物が見つかるということは、縄文時代の食文化が多彩なものであったことを想像できます。

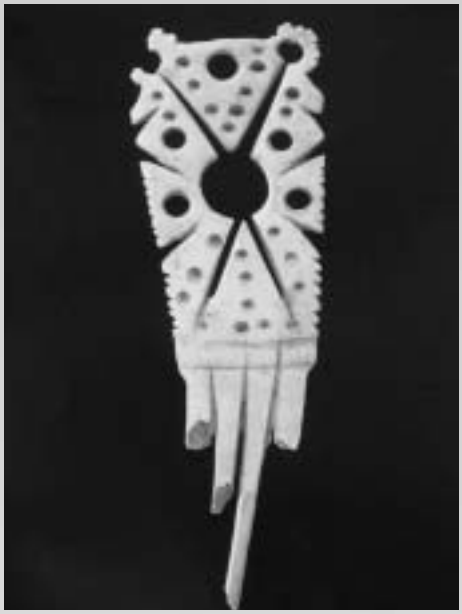
捕えた動物は食料のほか、生活に使う道具を作るための素材としても利用していました。釣り針や銛（もり）などの漁に使う実用的な道具もあれば、ペンダントや櫛（くし）などのアクセサリーもあります。これらをよく観察すると形を整えた後、素材に穴をあけたり切り込みを入れているものもあります。また、きれいに磨きをかけて仕上げており、縄文人が持っていたモノづくりの技術はかなり高度なものだったことがわかります。

骨の釣り針や銛



骨のアクセサリー

しかし、縄文人は何をイメージして、この形を作り出すことができたのかはわかっていません。これらの品々は廃棄場所と言われている貝塚から、壊れていないきれいな状態で見つかることが多いです。また、人の骨が貝塚から見つかることもあります。縄文人は墓を作るなど、死んだ人をしっかりと弔(とむら)っていたことがわかります。貝塚が単なる「ゴミを捨てる場所」であれば、きれいなアクセサリーや人の骨が見つかるとは考えられないので、縄文人にとって貝塚は、死んだ人の再生を願うなど、もっと特別で神聖な意味を持つ場所でもあったと考えられます。



シカの角で作った櫛

人面付き土器

【二ツ森貝塚の魅力】

貝塚は、縄文人がどのような自然環境の中で、どのような生活をしていたのか知ることができる貴重な場所です。

縄文時代の生活と現代の生活はかけ離れたものと感じるところも多いですが、食べているものやおしゃれをしているところなど、現代と共通しているところも多いと感じられます。

約1,500年もの長期間にわたり生活が営まれた二ツ森貝塚は、縄文時代の小川原湖周辺の自然環境や生活の姿を考えるうえで欠かせない遺跡です。それだけではなく、遺跡から見つかる縄文人が作り上げた数々のモノは、縄文人の感性や思考を示す貴重な財産です。

縄文人の生活や文化、その両方の有様を示しているのが二ツ森貝塚の魅力です。

出土したモノはどこで見ることができるの？

二ツ森貝塚から出土した土器や動物の骨の一部は、七戸中央公民館２階の展示コーナーで紹介しています。

見学時間　9:00～17:00

休 館 日　㈷・年末年始

ご　報　告

11月２日、日本政府は2020年の世界遺産登録を目指す候補として、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」を国連教育科学機関（ユネスコ）へ推薦すると決定しました。このため、「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、今年度の国の推薦が見送られることとなりました。

町では、来年度以降も世界遺産登録推進に向け、二ツ森貝塚の魅力をさらに発信していきますので、応援よろしくお願いします。

問合せ先　世界遺産対策室　☎58－5530

長谷川友里さんが内閣総理大臣賞受賞

11月23日から25日、広島県で行われた第86回全国書画展において、長谷川友里（ゆり）さん（天間東小１年）が画の部１万4,121点の応募の中で最高賞となる内閣総理大臣賞を受賞しました。長谷川さんは「絵をうまく描くことができたので自信はあったが、賞を取れるとは思っていなかったので、取ることができてうれしい」と話していました。

内閣総理大臣賞を受賞した長谷川友里さん▶

地域との連携強める

七戸中央公民館で11月29日、七戸町社会福祉協議会（濵中幾治郎会長）が第11回七戸町社会福祉大会を開催しました。社会福祉に寄与した個人・団体および「俳句・写真作品コンクール」入賞者への表彰のほか、落語家の三遊亭大楽さんを招き講演会が行われました。濵中会長は「さまざまな生活課題が混在しているため地域福祉の再構築が必要であり、社会福祉関係者が協同連携し課題や問題に取り組んでいきたい」と話していました。

◀今後の地域福祉について話した濵中会長

善意ありがとうございます

12月７日㈮
国際ソロプチミスト十和田（稲本佐矩（さくこ）子会長）

十和田市で行われたチャリティーイベントにおいて、教育振興資金（図書購入費）として10万円の寄附をいただきました。

叙勲おめでとうございます

叙位叙勲【従六位瑞宝双光章】

故 天間　勝也さん
（79歳／森ノ下）

教育功労
（元天間林村立西小学校校長）

叙位叙勲【瑞宝単光章】

故 天間　宏文さん
（71歳／家ノ下）

消防功労
（元七戸町連合消防団副団長）

見守り新鮮情報

私たちの生活の中にはたくさんの消費トラブルの種が潜んでいます。困ったときは、十和田市消費生活センター（☎51－6757）または青森県消費生活センター（☎017－722－3343）にご相談ください。

トラブル例１
「俳句が素晴らしい」と褒められて…高額な掲載料

「あなたの俳句は素晴らしい。新聞に掲載しないか」と電話で勧誘され、有頂天になり承諾した。掲載料は２万円と聞いていたが、確認すると24万円だった。高額なので断っても「キャンセルはできない」と強く言われ、仕方なく契約した。新聞にも掲載されてしまった。（70代女性）

☆アドバイス

「俳句」以外にも「短歌」「書道」「絵画」「写真」などで同様の手口が発生しています。褒められるとうれしくなる気持ちに付け込まれ、つい承諾してしまいがちですが、１度限りのつもりが次々に勧誘されるケースもあります。しつこく勧誘される場合は、あいまいな断り方をせず、きっぱり断りましょう。電話勧誘販売の場合、クーリング・オフができる場合があります。

トラブル例２
青森県内で急増しています！原野商法の二次被害にご注意ください！

30年ほど前に母親が「将来宅地になる、値上がりする」と勧められて山林を購入した。しかし、その後宅地になることはなく畑として使うしかなかった。ある日、県外の不動産業者から「高額で売却できる物件だ。他県では税金対策で企業が欲しがっている。売却するなら仲介をする」と勧誘され、売却に当たっての準備費用として、30万円の支払いを求められた。（50代女性）

☆アドバイス

原野商法とは、1970年から1980年代にかけて社会問題となった手口で、将来の値上がりが見込めない原野や山林などの土地を、値上がりするかのように偽って販売する手口です。それらの土地の多くは、値上がりしないまま数十年経過しており、そこに高額での売却話を持ち掛け、処分したい気持ちに付け込んで測量費、整地料などさまざまな費用を請求する二次被害が、高齢者を中心に増加しています。

原野商法で購入した土地や、以前から所有しており処分に困っている土地について、「土地を高く売らないか」などの勧誘には慎重に対応しましょう。身近に高齢者の方がいれば、周囲の方が見守るようにしましょう。

トラブル例３
死亡事故発生！歩行型除雪機の使い方の確認を

①除雪機を使用中、投雪口に詰まった雪を取り除こうとして、右手の中指、薬指および小指を骨折した。（60代）

②除雪機を操作しながら緩やかな下り坂をバックしようとしたところ、足が引っ掛かって下敷きになった。（80代）

☆アドバイス

歩行型除雪機を使用中の事故情報が寄せられており、死亡事故も発生しています。慣れていると思っても作業前に取扱説明書をよく確認し、除雪機の正しい使い方を理解しましょう。安全装置が作動するか必ず確認し、安全装置が正しく作動しない状態では絶対に使用してはいけません。雪詰まりを取り除くときはエンジンを停止し、鍵を抜き、回転部が完全に止まったことを確認してから、雪かき棒を使って雪を取り除きましょう。除雪機使用中に転倒すると、ひかれたり巻き込まれたりする危険があるので、転倒にも十分注意しましょう。

申告相談のお知らせ

申告は、国民健康保険税や介護保険料、町営住宅家賃、児童手当支給額、保育料の算定のほか、税関係の証明書発行など、公正な課税等を行ううえで非常に大切なものです。収入のない方や生活保護を受けている方、非課税所得のみの方も申告が必要な場合がありますので、次のページにあるフローチャートを使ってご確認ください。

また、申告書の電子化に伴い、申告者の利用者識別番号の取得が必要となるため、従来より若干時間をいただきますのでご了承ください。

【受付時間】 8：30～11：00／13：00～15：30

月	日	曜日	七戸地区 七戸支所3階 大会議室	天間林地区 本庁舎2階 会議室
2月	７日	（木）	城内	
	８日	（金）	城内	上原子1、上原子2、原子、向原子、ききょう団地、大沢
	１２日	（火）	城内、新町	白石、栗ノ木沢、白金、尾山頭、金沢、農場
	１３日	（水）	新町、大池、荒熊内、大沢	柳平、後平、馬込、蒼前1、蒼前2、坪1
	１４日	（木）	大池、荒熊内、大沢、上町	曙、金木、黄金、坪2、坪3
	１５日	（金）	上町、荒中見	小又、旭、森ノ上
	１８日	（月）	荒中見、川去、横長根	森ノ上
	１９日	（火）	川去、横長根、上川向	道ノ上
	２０日	（水）	上川向、下川向	道ノ上
	２１日	（木）	下川向、牧場	夏間木1、夏間木2、松ヶ沢、十枝内1、十枝内2、底田、市ノ渡、哘1、哘2
	２２日	（金）	横町、野沼寺、上川目	鳥谷部、栄、手代森、原久保
	２５日	（月）	上川目	向中野、中野、諏訪、中嶋、協和
	２６日	（火）	倉岡川目、東大町	長下、長下団地、けやき団地
	２７日	（水）	東大町	十字路、中野団地、千鳥団地
	２８日	（木）	東大町、蒼前	天間4、森中、天間2
3月	１日	（金）	蒼前	天間3、桜木、天間1、寺沢
	４日	（月）	舘野	石沢、一本木
	５日	（火）	舘野	石沢、一本木
	６日	（水）	舘野、下町、柏葉町	舟場向、上野崎、狐久保、花松、長沢
	７日	（木）	柏葉町	下野崎、中岫
	８日	（金）	作田川目、向町	榎林1
	１１日	（月）	向町、南浦	附田、榎林3
	１２日	（火）	小川町、川原町	榎林2、昭和
	１３日	（水）	袋町、新川原	二ツ森、貝塚
	１４日	（木）	新川原、道地川目	李沢、甲田
	１５日	（金）	道地川目	李沢、甲田

※２月18日㈪から３月15日㈮は、十和田税務署（9：00～16：00）でも申告できます。

申告が必要な方

平成31年１月１日現在、七戸町に住所があり、次に該当する方。

①自営業または農業を営んでいる方
②地代や家賃収入がある方
③給与所得者で年末調整を受けていない方
④遺族年金・障害年金等非課税年金収入のみの方
⑤公的年金以外の所得がある方
⑥生命保険の満期返戻金など一時的な収入のある方
⑦土地や建物などを売却した方
⑧医療費控除などの各種控除を受ける方

※青色申告および税務署で申告をする方は、役場での申告は不要です。

早い！簡単！ぜひ自己申告を

税務署ではご自分で簡単に申告書を作成できるほか、 国税庁ホームページでも所得税申告書が自動計算で作成できます。印刷すればそのまま税務署に提出できます。また、事前にID・パスワードを登録し、e-Taxを利用したスマホでの申告も可能となりましたので、ぜひご利用ください。

申告に必要なもの

①案内はがき
②マイナンバーカード（通知カードの場合は、運転免許証などの写真付本人確認書類の写しも必要です）
③印鑑
④給与や公的年金などの源泉徴収票
⑤平成30年中に支払った各種保険料の領収書や控除証明書
⑥自営業の方：収支計算書と収入・経費のわかるもの（帳簿・領収書など）
⑦農業経営者の方：収支計算書※、出荷証明書、入庫伝票、農業機械修理の領収書、その他経費の領収書など、収入や経費がわかるもの
※収支計算には、税務課・支所庶務課に用意している「農業申告の手引き」をご活用ください。
⑧医療費控除の方：平成30年１月～12月に支払った医療費控除等明細書や医療費通知書またはセルフメディケーション税制対象の明細書
⑨所得税の還付や振替納税を行う方：通帳とその印鑑
⑩電子申告をしたことがある方：利用者識別番号がわかるもの
⑪予定納税をした方：納付した領収書または振替通知書

申告フローチャート　あなたが申告する必要があるか確認してみましょう

※年齢は平成31年１月１日現在

スタート　平成31年１月１日現在の住所が七戸町である。

- いいえ → 七戸町への申告は必要ありません。平成31年１月１日現在の住所地で申告してください。
- はい → 平成30年中にどんな収入がありましたか？

収入なし	七戸町在住の親族の税法上の扶養になっている	→	申告不要
	誰の税法上の扶養にもなっていない 七戸町以外の親族の税法上の扶養になっている	→	住民税申告
非課税収入のみ（遺族年金、障害年金、失業給付金など）	七戸町在住の親族の税法上の扶養になっている	→	申告不要
	誰の税法上の扶養にもなっていない 七戸町以外の親族の税法上の扶養になっている	→	住民税申告
主に年金収入	年金収入のみで148万円（65歳未満は98万円）以下である	→	申告不要
	年金収入のみで148万円（65歳未満は98万円）超、400万円以下	→	住民税申告
	年金収入が400万円以下で、他の所得（20万円以下）がある	→	住民税申告
	年金収入のみで400万円を超える	→	確定申告
	年金収入以外の所得が20万円を超える（年金収入金額に関係なく）	→	確定申告
主に給与収入	年末調整が済んでいる（１か所からの給与のみ）	→	申告不要
	給与収入以外の所得が20万円以下である	→	住民税申告
	年末調整の内容に変更がある 医療費控除や新規に住宅借入金等特別控除を受ける ２か所以上から給与の支払いを受けた 年末調整が済んでいない 給与収入が２千万円を超える 給与収入以外の所得が20万円を超える（給与収入金額に関係なく）	→	確定申告
事業所得（農業、営業など） 不動産所得 雑所得 一時所得 利子所得 配当所得 総合譲渡所得 がある人	所得金額より控除が多い場合（所得税が課税されない）	→	住民税申告
	所得金額より控除が少ない場合（所得税が課税される）	→	確定申告
譲渡所得（土地・建物） 先物取引の雑所得 株式等の譲渡所得 上場株式等の配当所得 山林所得 がある人	→		確定申告 ※不要な場合もあります

○問合せ先　税務課　☎68－2113

申告で各種控除を受ける方へ

申告では、下記のような各種控除を受けることができます。対象となる方は必要書類を忘れずに持参してください。

障害者控除

身体障害者手帳または愛護（療育）手帳、精神障害者手帳、障害者控除対象者承認書※をお持ちの方は障害者控除を受けることができます。

※介護保険の要介護１～５の方の中で、重度の障害を抱えている方として町が認定して交付します。詳細は健康福祉課（☎68－3500）まで。

医療費控除

医療費控除を受けるための書類として「医療費控除の明細書」の提出が必要となります。また、健康保険組合などが発行する「医療費のお知らせ」など医療費通知も使用できます。ただし、①被保険者等の氏名／②療養を受けた年月日／③療養を受けた者／④療養を受けた病院・薬局などの名称／⑤被保険者等が支払った医療費の額／⑥保険者の名称がすべて記載されていなければ使用できませんのでご確認ください。

詳細については広報12月号をご覧ください。

セルフメディケーション税制（医療費控除の特例）

勤務先などで実施される各種健診や予防接種などを利用した方が、自身または生計を共にする家族のために特定一般用医薬品（スイッチOTC医薬品）などを購入した場合、年間合計額１万２千円を超えた分が控除されるものです（控除上限８万８千円）。通常の医療費控除または本制度のいずれかを選択して適用します。

【必要書類】

●セルフメディケーション税制の明細書

●各種健診や人間ドック、予防接種などの受診がわかる書類（領収書、結果通知表など）

※①本人の氏名／②実施日／③事業実施主体が記載されていること。ただし、後期高齢者健康診査の結果通知表には事業実施主体の記載がありませんので、別に証明書の発行が必要です。発行に２週間ほど要しますので、町民課（☎68-2112）または支所庶務課（☎62-2111）へ早目にお越しください。

小型除雪機を貸出します

除雪ボランティア団体や町内会、常会、分館が除雪を行う場合、小型除雪機を無料で貸し出します。

貸出機械	ハンドロータリー式除雪機（除雪幅915、10馬力）	本庁舎・支所各１台
	ブレード式除雪機（除雪幅800、1.8馬力）	本庁舎・支所各１台
	除雪機積載用アルミブリッジ	本庁舎・支所各１式
	移動型融雪機・発電機	本庁舎１式

貸出日数　３日以内

貸出条件
・七戸町社会福祉協議会のボランティア活動保険に加入していること
・除雪機の運搬は団体で行うこと
・除雪機の燃料を満タンにして返却すること

申込方法　作業日の３日前までに、社会生活課・支所庶務課・七戸町社会福祉協議会のいずれかでお申し込みください。

申込締切　３月25日(月)

○問合せ先　社会生活課　☎68－2114／支所庶務課　☎62－2111
七戸町社会福祉協議会　☎62－6790

消火栓の使用による水道水の濁りについて

火災で消火栓を使用したとき、水道管内の急激な流れの変化により、蓄積した汚れがはく離し、水道水が濁ることがあります。消火活動終了後は、きれいな水をできるだけ早く供給できるよう作業しますが、蛇口をしばらく開けていても濁り水が出る場合は上下水道課までご連絡ください。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

○問合せ先　上下水道課　☎62－6243

20歳になったら国民年金

国民年金は、高齢者などの生活を現役の労働者みんなで支えようとつくられた制度です。若いときからしっかりと保険料を納め続ければ、自身が高齢になったときの老齢年金をはじめ、病気やけがで障害が残ったときの障害年金、家族の働き手が亡くなったときの遺族年金を受け取ることができます。

また、所得額が一定の額に満たない場合は、特定の期間納付が猶予される納付猶予制度や学生納付特例制度（学生の方のみ）をご利用いただけます。

○問合せ先　町民課　☎68－2115／青森年金事務所　☎017－734－7495

平成30年度『緑の募金』について

平成30年10月１日～31日に実施した平成30年度『緑の募金』は、皆さんのご協力により55万1,583円集まりました。募金の50％が青森県緑化推進委員会から当町緑化推進委員会に交付され、同委員会では町内小・中学校や緑化推進ボランティア団体などの植樹活動や環境美化活動などに助成しています。助成金の交付を希望する団体は、１月31日㈭までにご連絡ください。

平成31（2019）年度も『緑の募金』を実施しますのでご協力お願いします。

○問合せ先　七戸町緑化推進委員会（農林課内）　☎68－2116

いのち支える自殺対策計画（案）への意見を公募します

町では、自殺対策基本法に基づき、誰も自殺に追い込まれることのない七戸町を目指し、平成31（2019）年度から平成35（2023）年度を計画期間とした自殺対策計画を作成しています。

皆さまのご意見やご提案を広く求めるため、意見公募を行います。

実施予定期間　1月24日㈭～2月22日㈮
資料閲覧場所　①健康福祉課／②七戸町ウェブサイト（http://www.town.shichinohe.lg.jp/）
結果の公表　寄せられたご意見はウェブサイトで公表します。なお、個人のご意見への直接回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

○問合せ先　健康福祉課　☎68－4631

屋根・外壁の無料健康診断しませんか？
早期予約で8～10%割引！
株式会社 太信（たいしん）塗装店
☎0176－62－2387
七戸町字七戸59－17
創業43年の実績
まじめだけが取りえの地元業者です！
屋根外壁の健康診断のみでもOK！
勝手なお見積もりはいたしません！
割引はご予約時にこの広告をお見せください！

相続登記手続代理いたします
お気軽にご相談ください 相談無料
不動産／会社法人／遺言／相続放棄他
田中司法書士事務所
七戸町字七戸167（役場七戸庁舎向）
司法書士・行政書士　田中 淳
七戸町田中司法書士 検索　☎0176-58-0175

七戸町景観のまちづくり検討委員会委員募集

七戸町の良好な景色を維持し、保全するための景観のまちづくりについて検討するにあたり、町民の声を取り入れるため、七戸町景観のまちづくり検討委員会の委員を募集します。

資　　格　町内在住の20歳以上の方で、年数回（今年度２回、来年度６回程度）の会議に出席できる方。
募集人数　３名（公募委員）
任　　期　２月から１年間
応募方法　七戸町ウェブサイト（http://www.town.shichinohe.lg.jp/）、企画調整課および支所庶務課にある応募用紙に必要事項を記載のうえ、企画調整課へ郵送、FAXまたはご持参ください。
応募締切　１月18日㈮　17:00必着

○申込・問合せ先　企画調整課　☎68－2940／FAX68－2804
（〒039-2792　七戸町字森ノ上131-4）

七戸町観光交流センター２階喫茶コーナーテナント募集

平成31（2019）年度の七戸町観光交流センター喫茶コーナーのテナント募集に係る説明会を開催します。町内の個人および事業者が対象となります。

日　　時　１月23日㈬　15:00～17:00
場　　所　道の駅しちのへ道路・観光情報館　２階会議室
申込方法　電話またはFAXで事業所名・担当者名・連絡先をお知らせください。
申込締切　１月21日㈪　12:00

○申込・問合せ先　商工観光課　☎62－2137／FAX51－5377

水道管の凍結・破裂にご注意ください

これからの時期は、水道管が凍結しやすくなります。寒いときだけでなく、引っ越しや長期間水道を使わないときも水抜きをしましょう。

水抜き栓の操作方法

（水を出すときは水抜き操作の逆手順で行います）
１．蛇口を開き、水抜き栓を最後まで閉める
２．蛇口のハンドルを全開にする
３．蛇口に手を当て、吸い込まれる感覚があれば水抜き完了
※水抜き栓の設置場所は、床下や流しの下など建物によって異なります。電動式自動水抜き栓での水抜きをする方は、取扱説明書をご覧ください。

水道が凍ったとき

１．暖房器具で室内をゆっくり暖める
２．蛇口のハンドルを回さずにタオルなどを巻き、その上からぬるま湯をゆっくりかける
※熱湯をかけると蛇口が破損する場合があります。

破損・破裂したとき

下記の各事業者へご連絡ください。町外の事業者に関しては、上下水道課へお問い合わせください。

町の指定給水装置工事事業者（町内）							
石田電気工業㈱	62-2426	東北燃料㈲	62-2844	㈱工藤組	68-3111	エム＆ケー総合設備工業	60-8244
石田産業㈱	62-2103	千葉電気	62-9673	㈲十枝内電気	68-2122	㈱小又建設	68-3710
㈲佐野水道設備	22-7057	田中土木㈱	62-6501	㈲日の出設備工業	68-2367	㈱七戸クリエート	62-6210
東陽工業㈱七戸支店	62-6425	㈱オキタ工業七戸支店	62-4233	㈲手代森電気	68-3622	㈲石上建設	68-4430
㈱三輪建設	62-6111	㈱斉下産業	62-4101	㈲三光電気	68-3093	㈱ツクダ建設	68-2900
中野電気	62-4472	㈲エムティー通信	62-6982	長澤電気	68-3995	acqua アクア	68-4336
㈱シンコー	62-4518	㈲まこと建設	60-1900	東住設	68-4742	小坂興業㈱	68-3400

○問合せ先　上下水道課　☎62－6243

新着図書情報

■1月の休館日…14日（月）、24日（木）
■問合せ先…七戸中央図書館 ☎62－2119
七戸中央公民館図書室 ☎68－2920
蔵書検索【http://www.town.shichinohe.lg.jp】

善意ありがとうございます

上十三獣医師会（小山田富弥会長）から、会創立70周年を記念して、児童書10冊を中央図書館に寄贈していただきました。大切に活用させていただきます。

【中央図書館】

曙に咲く

／蜂谷涼（著）

津軽の商家に生まれた鶴。戊辰の役が終わると北海道に渡り、そこでアメリカ人エドウィン・ダンと出会い…。北海道の畜産発展に貢献したエドウィン・ダンと、時代の荒波に翻弄されながらも一途な想いを貫いた妻・鶴の愛の物語。

ばぁばの100年レシピ

母から私に。そして若い人へおくる味

／鈴木登紀子（著）

お料理の才覚があれば、どんなときでも心豊かに暮らせます。「きょうの料理」への出演40年を超える青森県出身の日本料理研究家が、おひたし、お吸い物、煮物、焼き魚といった、次の世代へ伝えたいレシピを紹介します。

ぬかどこすけ!

／かとうまふみ（作）

初めての仕事で張りきる、入れ物の“かめ”。でもおばあちゃんに入れられたのは、ぐちゃぐちゃしたものでがっかり。おまけに毎日かき混ぜられて、においと笑い声が! 中にいたのは…。ぬかづけのおいしい秘密がわかる絵本。

【中央公民館図書室】

フーガはユーガ

／伊坂幸太郎（著）

仙台市内のファミレスで常盤優我は語り出した。双子の弟・風我のこと。決して幸せでなかった子ども時代のこと。そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のことを…。不思議で切ない長編小説。

マドモアゼル・シック

／ジェニファー・L．スコット（作）
たんじあきこ（絵）・神崎朗子（訳）

エマは、お母さんの雑誌「マドモアゼル・シック」がお気に入り。でも、シックってどういう意味？もっとすてきになりたいエマは、お母さんから、あいさつ・身だしなみ・姿勢・テーブルマナーなどのレッスンを受け…。

90さいのキヨさん

／まつつむぎ（作））・園りんご（絵）

1人暮らしのキヨさんは90歳。転んで足を骨折してから、外に出掛けることはなくなった。そんな様子を気にした僕は夏休みにキヨさんの家を訪ね…。世代を超えた触れあいの大切を伝える絵本。読み聞かせにもぴったり。

文芸欄

《俳句》

花鉢を日差しの窓へ冬構　森野弘美
裏口にいた打ち付けて雪構　天間スヱ
山を背に村ひっそりと冬構え　高田亮子
冬構え厚きカーテン出しにけり　築場恭子
落日の色の染みゆく子守柿　川村亜輝子
落人の里とや確と冬構　高田美津子
七歳の祝い着代々七五三　盛田恵津子

《川柳》「おしゃべり」

掴まった実の無い話題小半日　正十四
フリースペースコーヒー無料おしゃべりす　花子
陽を浴びて雀のおしゃべり楽しそう　幸
おしゃべりに熱中バスに置いてかれ　香

《短歌》

七戸群青短歌会

秋日和小菊にハチの群れ飛んで
霜が来るまでの忙しい時間　小原璋子

花ばなに雫いくつもきらめきて
今朝つむ菊の色の際立つ　内山涼子

朝シャワー浴びた食菊陽をまとい
一斉に咲いて香気漂う　市ノ渡つま子

穏やかな菊人形の眼差しに
母の面影みて足とめる　越前智代子

てんまはやし短歌会

カラフルなままごとセットを広げては
孫のすすめるハンバーグ旨し　高田洋子

今朝もまた葉の間からふたつほど
アゲハチョウといふざざんか咲けり　哘﨑アイ子

手際よく手打ちそば作る友たちよ
昼は近しと我はねぎ刻む　原信子

台風ははやそれたるか騒だてる
木末しだいに穏しくなりて　佐藤悠一

保健だより

◎虫歯ゼロのおともだち

12月14日の3歳児健診で、虫歯のなかったお子さんを紹介します。

（　）内は町内名

伊瀬谷心希（いせや　この）ちゃん
（新　町）

上原子峰望（かみはらこ　みねもち）くん
（榎林２）

宮澤芽依咲（みやざわ　めいさ）ちゃん
（二ツ森）

原田　和奏（はらだ　わかな）ちゃん
（大　荒）

蛯名　蓮玖（えびな　はく）くん
（榎林１）

大池　紘生（おおいけ　こうき）くん
（城　内）

川村　愛咲（かわむら　あいら）ちゃん
（上川目）

国民健康保険・個別健診のお知らせ

40～69歳の国民健康保険の方で、七戸病院人間ドック・総合健診を申し込みしていない方は、特定健診（血液・尿検査、血圧測定などによる内臓脂肪症候群の検査）を受けることができます。希望する方は、健康福祉課（☎68－4631）へお申し込みください。受診券と問診票が届き次第、いずれかの医療機関へ予約のうえ受診してください。

期間　２月28日㈭まで　　**場所**　石井医院（☎62－2752）／工藤医院（☎68－2666）

ストップ！糖尿病　No.3

糖尿病を未然に防ぐには、年に１回自分の状態を確認しましょう！

口が渇きやすい、疲れやすいなどの自覚症状が現れたときには、糖尿病が進行している場合があります。年に1回、健診を受けて自分の血糖値を知ることが大切です。検査値に異常があったら、必ず医療機関を受診し、医師の診断を受けましょう！

次号では、糖尿病予防～食生活のポイント～をご紹介します。

空腹時血糖（mg/dl）

血液中のブドウ糖の濃度がわかります。

糖尿病域	126以上
境界域	110～125
正常高値	101～124
正常域	100以下

＊100mg/dl以上であると要注意で、生活習慣の改善が必要です。

HbA1c（ヘモグロビン・エー・ワン・シー）

赤血球に存在するヘモグロビン(Hb)に、ブドウ糖が結合したものです。過去１～２か月間の平均血糖値を反映します。

糖尿病域	6.5以上
糖尿病予備群	5.6～6.4
正常基準値	5.5以下

＊5.6以上であると要注意で、生活習慣の改善が必要です。

尿　糖

尿糖とは、血液中の糖が尿に出たものです。ブトウ糖は腎臓でろ過され、再吸収されるので、通常は尿に糖はでませんが、血糖値が180mg/dl以上になると尿に糖がでる場合があります。

認知症って？／vol.8

認知症は「脳の病気」です。認知症の症状のうち、本号では「認知症の診断・治療」についてご紹介します。

認知症の早期発見、早期受診・診断、早期治療は、認知症の方の生活を左右する非常に重要なことです。「認知症はどうせ治らないから、医療機関にかかっても仕方がない」という誤った考え方はやめましょう。

認知症の診断は、初期になるほど他の病気の可能性があり判断が難しいため、熟練した技術と高度な検査機器を要する検査が必要となります。受診内容として、CT、MRI、脳血流検査などの画像検査、記憶・知能などに関する心理検査などを行います。

早い時期に受診することで、適切な治療や対応ができ、生活上の障害を軽減しトラブルを減らしたり、自分らしい生き方ができたりと、今後生活していくうえでのメリットがあります。そのため、少しでもいつもと違うと気が付いたら専門機関での受診をお勧めします。

次号は、「認知症の予防についての考え方」についてご紹介します。

問合せ先　七戸町地域包括支援センター　☎68－3500

『通いの場』通信　vol. 6

地域のお宝を紹介します

通いの場は地域に住む多世代の人々が自由に参加する「ふれあいの居場所」です。さまざまな人との交流により生きる意欲が高まり、絆が生まれていきます。

これからも広報で、生活支援コーディネーターが紹介していきますので、地域のお宝情報をお寄せください。

さまざまなダンスで楽しく、気分も晴れやか

七戸地区「レクリエーションダンス愛好会」

南公民館で週１回、体を動かすことが好きな仲間が集まり、いろいろなジャンルの曲に合わせてダンスをしており、筋力の維持に励んでいます。休憩時には、水分補給や椅子を丸く並べてお話をするなど、笑顔あふれる楽しい会です。

楽しんでいるうちに、足腰が強くなる！

天間林地区「グラウンドゴルフ協会」

七戸中央公園内で毎週月～金の午前中、グラウンドゴルフをしています。公園内のコースのため起伏があり、軽い負荷がかかり良い運動になっています。うまくいかなくても励まし合うなど和気あいあいとした雰囲気で行っています。冬期間は七戸町屋内スポーツセンターで行う予定です。

問合せ先　七戸町地域包括支援センター　☎68－3500

募　集　情　報

七戸町介護業務の非常勤職員募集

介護業務に従事する以下の非常勤職員を募集します。詳細については、七戸町ウェブサイト（http://www.town.shichinohe.lg.jp/）をご覧ください。

職　　種　介護支援専門員 ２名／介護認定調査員 ３名
任用期間　４月１日㈪から１年間（必要に応じて再任用あり）
勤務時間　8:15～16:30　週４日以内　時給1,100円～
提出書類　①ハローワーク野辺地の紹介状／②履歴書／③資格証明書の写し
申込方法　提出書類を健康福祉課までご持参するか郵送してください。
申込締切　１月18日㈮　必着

問合せ先　健康福祉課　☎68－3500（〒039-2827　七戸町字森ノ上359-5）

町営住宅入居者募集

募集住宅（家賃は所得により個人差があります）

①倉越団地７－Ｂ号（字倉越４－１）	**建築年度**　平成12年度（木造２階／１棟４戸） **間　　取**　3DK（6・6・8・8DK）オール電化 **家　　賃**　約22,900円～34,100円
②倉越団地９－Ｄ号（字倉越４－１）	**建築年度**　平成13年度（木造２階／１棟４戸） **間　　取**　3DK（6・6・8・8DK）オール電化 **家　　賃**　約23,100円～34,400円
③協和団地６－１号（字森ノ上111－２）	**建築年度**　平成９年度（木造平屋／１棟２戸） **間　　取**　2LDK（7・8・15LD・5K） **家　　賃**　約18,400円～27,400円
④中野団地２－２号（字中野96）	**建築年度**　平成13年度（木造平屋／１棟２戸） **間　　取**　3LDK（5・6・6・12LDK） **家　　賃**　約16,000円～23,800円

募集期間　１月７日㈪～18日㈮　8:15～17:00
※㈯・㈰・㈷除く
入居予定日　２月下旬予定
敷　　金　入居家賃３か月分
選考方法　選考委員の審査により決定します。
資格･申込方法　事前に建設課へお問い合わせください。

注意　七戸町在住の連帯保証人が２人いること。
原則として、税金などの滞納のある方、持ち家のある方は申込みできません。
※七戸町ウェブサイト（http://www.town.shichinohe.lg.jp/）に詳しく掲載していますのでご確認ください。

申込・問合せ先　建設課　☎62－6244

自衛官受験者募集

試験内容などは電話でご確認ください。

募集種目		応募資格	募集期間	試験日
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の方	通年	1月26日㈯・27日㈰または2月16日㈯・17日㈰
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の方	1月上旬～4月上旬	4月上旬
	推薦	18歳以上で各種国家免許資格などを持っている方		

問合せ先　自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所　☎53－1346

イベント情報

第11回チャリティー歌と踊りのつどい

入場券の販売場所などは、電話でご確認ください。

日　　時　1月27日(日)　10:00～
場　　所　七戸中央公民館
入 場 券　前売り券1,000円／当日券1,500円
問合せ先　てんまカラオケ愛好会
附田　☎090－5238－9985
富浦　☎090－9032－9226

平成30年度ハートフルアート地域コラボ ～七戸養護学校・七戸高等学校合同作品展～

両校の絵画作品や書道作品の展示を通じて、造形活動における地域とのつながりを深めます。ぬくもりあふれる作品をぜひご覧ください。

展示期間　1月21日(月)～2月8日(金)
場　　所　・七戸町観光交流センター 展示ホール
・JR七戸十和田駅2階 改札前通路
問合せ先　七戸養護学校　☎62－2331

「あおもり冬の読書週間」が始まります

青森県読書推進運動協議会では、青森の長い冬の過ごし方として、家族そろって読書する習慣を浸透させることを目的に「あおもり冬の読書週間」を実施します。中央図書館では、成人の日にちなんで「若い人に贈る読書のすすめ展」を行いますので、ぜひご来館ください。

期　　間　1月6日(日)～26日(土)
場　　所　七戸中央図書館
問合せ先　七戸中央図書館　☎62－2119

JOIN移住・交流＆地域おこしフェア開催

東京都で田舎暮らしや移住に関する日本最大級の相談会が開催されます。当町では「地域おこし協力隊の募集」と「情報提供・移住相談」を行います。Uターンをお考えの首都圏在住のご家族やご友人がいましたらぜひご紹介ください。

日　　時　1月20日(日)　10:00～17:00
場　　所　東京ビッグサイト東1ホール
参 加 費　無料（予約不要）
問合せ先　地域おこし総合戦略課　☎68－2422

七戸町営スキー場オープン

営業時間　日中9:00～16:00／ナイター17:00～21:00
※毎週(日)・(月)はナイター営業しません

券種	小・中学生	高校生以上
シーズン券	10,000円	15,000円
1日券	1,000円	2,000円
ナイター券	500円	1,000円
2時間券	400円	800円
1回券	100円	200円
ポニーリフト時間券	200円	400円

問合せ先　南部縦貫㈱　☎62－2131（平日9:00～16:00）

ぐるっとNAVI上十三・十和田湖広域定住自立圏情報

十和田湖冬物語／十和田市

日 に ち　2月1日(金)～24日(日)
場　　所　十和田湖畔休屋特設イベント会場
問合せ先　十和田湖冬物語実行委員会　☎75－2425

米軍三沢基地見学ツアー／三沢市

日　　時　①2月15日(金)12:30～
②3月15日(金)12:30～
場　　所　米軍三沢基地内(集合場所スカイプラザミサワ)
申込方法　電話、メールまたはFAXでお申し込みください。(先着60名)
申込期間　①1月4日(金)～1月23日(水)
②2月1日(金)～2月20日(水)
問合せ先　三沢市産業政策課
☎53－5111／FAX53－7516

新春！うそ八百・ほら吹き大会／おいらせ町

日 に ち　1月20日(日) 13:00～
場　　所　みなくる館
問合せ先　おいらせ町まちづくり防災課☎0178－56－2131

国設野辺地まかど温泉スキー場　好評営業中！

日 に ち　【アルペンコース】3月10日(日)まで
★ナイター 2月28日(木)まで
【クロカンコース】3月10日(日)まで
★ナイター 1月4日(金)～3月2日(土)
場　　所　国設野辺地まかど温泉スキー場
問合せ先　【アルペンコース】馬門温泉スキー場
☎0175－64－3138
【クロカンコース】あったかハウスまかどの森
☎0175－64－0778

屋内温水プール　３月28日㈭まで

毎週㈪→男性無料　毎週㈭→女性無料

運動不足になりがちな冬場は、屋内温水プールで運動不足を解消しましょう。水中ウォーキングや水泳など、自分のレベルに合わせて利用できますので、ぜひご利用ください。

問合せ先
生涯学習課　☎62－9702／七戸町屋内温水プール　☎68－3363

納期限のお知らせ

国民健康保険税	随１期
介護保険料	随１期
後期高齢者医療保険料	随１期

納期限（口座振替日）１月31日㈭

滞納解消に向けた取り組み強化中！！

問合せ先　税務課　☎68－2113

役場七戸支所の耐震改修工事により各課窓口が移動します

七戸支所の耐震改修工事日程は下記のとおりです。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

	１月４日㈮～31日㈭	２月～
３階	大会議室・第１会議室 工事中（第２会議室）	大会議室・第１会議室 第２会議室
２階	学務課・生涯学習課 世界遺産対策室・こども支援ルーム	
１階	庶務課・建設課・上下水道課	
その他	エレベーター（1月18日㈮～25日㈮工事中）	

※工事進捗状況により変更することがありますので、来庁の際に正面入り口の案内板をご覧ください。

鷹山宇一記念美術館情報

「第18回鷹山賞児童作品展」「藤谷芳雄の世界展」

1月20日㈰まで開催中

●入館時間●　10:00～18:00（最終入館17:30）
●休 館 日●　月曜休館
（祝日の場合は開館し翌日休館）
●入 館 料●　一般500円／高・大300円
小・中100円
●問合せ先●　鷹山宇一記念美術館　☎62－5858

次回予告
「第78回国際写真サロン展」
2月10日㈰～3月10日㈰
写真表現や画像加工を駆使し独創性と芸術性に富んだ写真作品の中から世界各国の入賞・入選作品を展示します。

小学生の部　鷹山賞
「キアゲハ」
野辺地小３年　大西千晶さん

中学生の部　鷹山賞
「オリヴィエートを支えた地下は…」
三本木附属中２年　豊川己羽来さん

藤谷芳雄
「銀河鉄道の夜」

新任民生委員児童委員のご紹介

坪　賢次さん
（坪1・2・3、金沢地区担当）
☎68－3470

坪賢次さんが厚生労働大臣から民生委員児童委員に任命され、坪1・2・3、金沢地区を担当することになりました。

地域住民の福祉支援や子どもに関する相談を聞くなど、ボランティアとして活動します。秘密は守られますので、どんな小さな困りごとでも気軽にご相談ください。

また、城内（中）地区は現在欠員中ですので、同地区にお住いの方は社会生活課へご相談ください。

問合せ先　社会生活課　☎68－2114

人権相談所の開設について

皆さんが日ごろ感じているさまざまな問題の相談を、法務局職員や人権擁護委員がお聞きします。

1. みんなの人権110番	☎0570－033－110	差別や虐待、パワーハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談
2. 子どもの人権110番	☎0120－007－110	いじめや体罰など、子どもの人権についての相談
3. 女性の人権ホットライン	☎0120－007－110	セクハラやDVなど、女性の人権についての相談

受付時間　8:30～17:15　(土)・(日)・(祝)を除く

戸籍の窓口

11月・12月

◎お誕生おめでとうございます

子ども	母親	住所
髙松　奏一（かなひと）くん	真衣子さん	十役野
髙橋　柊羽（しゅう）くん	真紀子さん	舘野
岡村　柊吾（しゅうご）くん	楓さん	野続
田嶋　芽依（めい）ちゃん	未沙希さん	後平
長内　優依（ゆうい）ちゃん	麻衣子さん	昕2

●お悔やみ申し上げます

大平　寿さん	50歳	天王	
成田　ミツコさん	79歳	貝ノ口	
小川　榮子さん	86歳	七戸	
田中　勝一郎さん	80歳	太田野	
岩城　カヅ子さん	75歳	七戸	
織川　直志さん	85歳	左組	
小栗　仁太さん	84歳	八栗平	
浦田　ソメさん	92歳	沼ノ沢	
坂田　和子さん	62歳	大林	
白石　治一さん	80歳	白石	
天間　富美子さん	102歳	天間蒼前	
十枝内　ハツエさん	92歳	道ノ上	
鳥谷部　キミさん	77歳	鳥谷部	
鳥谷部　國男さん	71歳	鳥谷部	
奈良　とし子さん	89歳	天間1	
工藤　龍さん	87歳	天間3	
蛯名　鶴松さん	89歳	曙	
赤坂　トシさん	90歳	倉越	

◎ご結婚おめでとうございます

成田　駿平さん	太田野	
坪　ほのかさん	坪2	

くらしの相談窓口

気軽にご相談ください。相談無料・秘密厳守

―― 行政・人権相談 ――

（人権問題や悩みごと、行政への要望など）

町民課☎68－2112、庶務課☎62－2111

日　時　1月16日(水)　9:00～12:00
場　所　本庁舎　1階　相談室
　　七戸支所　4階　第3会議室
相談員　行政相談委員、人権擁護委員

性暴力被害の相談窓口

「りんごの花ホットライン」　☎017－777－8349

相談受付時間　(月)・(水) 10:00～21:00　／　(火)・(木)・(金) 10:00～17:00　※(祝)・年末年始を除く

レイプや強制わいせつなど、性犯罪・性暴力の被害にあわれた方やそのご家族などからの相談を受け、要望に応じた必要な支援をコーディネートします。専門の研修を受けた相談員が対応しますので、気軽にご相談ください。

プロの指導に熱視線

七戸町屋内スポーツセンターで12月９日、平成30年度ジュニア育成事業「ベースボールスクール」が行われ、当町と東北町の小・中学生105人が参加しました。参加者は当町出身で元埼玉西武ライオンズ投手コーチの橋本武広さんを含む、現役選手ら5人による技術指導を受け、同日行われた橋本武広杯少年野球大会で指導の成果を生かしていました。

▲子どもたちを指導する外崎選手

おいしくなあれ

七戸小学校で11月27日、城南小学校で12月22日、十和田おいらせ農協青年部七戸支部（氣田修支部長）は餅つき会を開催しました。児童たちは初めての餅つきで苦戦しながらも「よいしょ！よいしょ！」と大きな掛け声を掛けていました。青山恩くん（七戸小５年）は「杵（きね）が重く、餅が粘ついて大変だったが、みんなで餅つきができて楽しい」と話していました。

▲餅つきをする七戸小学校の児童たち

歴史に名を刻むために

七戸町屋内スポーツセンターで11月25日、第6回七戸町スポーツレクリエーション祭が行われました。子どもからお年寄りまで約180人が参加し、スリッパ飛ばしや５人10脚走などの５種目に挑戦し、当町独自の「七戸ギネス」を更新しようと奮闘しました。今回は、７人が「七戸ギネス」を塗り替えました。

スリッパ飛ばし

（シニアの部：男）	向中野　悟さん	14m70㎝

スピードガンコンテスト（サッカー／野球）

（シニアの部：男）	川村　　清さん	146(56／90)km
（シニアの部：女）	中岫美智子さん	73(39／34)km
（小１～２年の部：女子）	中川凛々心さん	75(32／43)km
（小３～４年の部：女子）	中村　虹湖さん	116(48／68)km
（小５～６年の部：女子）	一戸安祐子さん	124(53／71)km
（小５～６年の部：女子）	山田　晏羽さん	124(50／74)km

▲記録更新を目指す参加者たち

町の統計

平成30年11月30日現在

★人口と世帯

男	7,573人	（－ 6）
女	8,279人	（－18）
計	15,852人	（－24）
世帯数	6,829世帯	（－ 1）

（　）内は前月比

★交通事故

件数	2件（26件）	〈－1〉
傷者	9人（46人）	〈＋3〉
死者	0人（ 1人）	〈±0〉

★町内の火災

建物	2件(9件)	〈＋2〉
林野・その他	0件(5件)	〈±0〉

（　）１月からの累計
〈　〉前年同月との累計比

借金に関する相談窓口

東北財務局青森財務事務所では、無料相談窓口を設置しています。気軽にご相談ください。

受　付　平日（祝日・年末年始を除く）
①　8:30～12:00
②13:00～16:30
場　所　青森合同庁舎（青森市）
相談先　東北財務局青森財務事務局
☎017－774－6488

●発行日　平成31年１月１日　●発行者　七戸町企画調整課　〒039－2792青森県上北郡七戸町字森ノ上131－4　℡ 0176－68－2940（この広報は再生紙を使用しています）